

日蓮是智

○舍利礼文

一心頂礼 万徳円満
 本地法身 法界塔婆
 入我入 仏加持故
 利益衆生 発菩提心
 平等大智 今将頂礼

釈迦如来 我等同敬
 我証菩提 我入神力
 修菩薩行 同入円寂

真身舍利 為我現身
 以仏神力 同入円寂

○普回向

願わくは此の功徳を以て、普く一切に及ぼし、
 我等と衆生と、皆共に仏道を成ぜんことを。

十方三世一切仏。諸尊菩薩魔訶薩。
 魔訶般若波羅蜜。

新年のご挨拶



検校庵 住職 鈴木 恵道

明けましておめでとうございませす。令和五年の新春を迎え、心よりお喜び申し上げます。

年が明け、私も遂に還暦を迎える事となりました。初心に帰り、これまでに検校庵に与えて頂いたご恩に報いることが出来るよう益々精進して参ります。

紙面ではこれから数回にわたりお寺の行事の様子をお伝えしていこうと思いますが、今回は「成道会^{じょうどうかい}」をご紹介します。

皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

○成道会

十二月八日はお釈迦さまがお悟りを開かれた事をお祝いする日です。

二十九歳の時に王族という地位を捨て出家されたお釈迦さまは、六年にもわたる苦行を続けられました。本当の意味での心の安らぎを得ることが出来ませんでした。

お釈迦さまは苦行を離れ、身体を癒し、菩提樹のもとで坐禅に入りました。そして一週間の後、ついにお悟りを開かれたのでした。

苦行でやせ細ったお釈迦さまに村娘のスジャータが施したのが乳粥です。

成道会では、お粥をお供えし参列者に振舞われます。



出山釈迦図



令和五年の行事予定

どなたでもご参加いただけます。法要を通して、仏の教えに触れてみませんか。



7月8日「^{せじきえ}施食会」10・11時
お盆の先祖供養と、新盆のご供養をする法要。(お施餓鬼とも呼ばれます) 共にご先祖様へ掌を合わせましょう。



3月15日「^{ねはんえ}涅槃会」10時半
お釈迦様の亡くなられた日に、そのご遺徳を偲ぶ法要。“やしょうま”を準備してお待ちしております。



12月2日「^{じょうどうえ}成道会」15時
お釈迦さまのお悟りをお祝いする法要。悟りに因んだお粥をお配りしております。



4月15日「^{けんぎょうさい}検校祭」11時
検校尊像の供養とお釈迦さまの誕生をお祝いする法要。「花祭り」を共にお祝いしましょう。

令和5年 法事年回表

1周忌	令和	4年	亡
3回忌	令和	3年	亡
7回忌	平成	29年	亡
13回忌	平成	23年	亡
17回忌	平成	19年	亡
23回忌	平成	13年	亡
27回忌	平成	9年	亡
33回忌	平成	3年	亡
50回忌	昭和	49年	亡
100回忌	大正	13年	亡

検校庵では、ご法事・通夜・お葬式・会食・勉強会・花見などの各種行事に昔からご利用いただいております。

お檀家さま・信者さまに限らず地域の方々に幅広くご利用いただくことが出来ますので、お気軽にお問い合わせください。

◆法事年回表とご先祖様の命日を見比べて、年回忌に当たっているかをご確認ください。

◆土・日・祝日にご法事を希望される場合、お早めにご連絡をお願いします。

◆本堂でのご法事・会食も可能ですので、是非ご利用ください。

お寺をご利用ください

功德を回らす

藤田清隆

ご法事の際、「ご回向ですので合掌をお願い致します。」などと言われたことはありませんか。

【回向】「回轉趣向」の略語。自己の行う善根功德を回轉して、菩提に趣向し、衆生に施与することであると定義されます。

〔意味〕
自分の修めた善行の結果が他に向かって回らされて期待している事柄を満足すること。

ご法事に進めると、「四十九日の旅を無事に終えて仏の世界に辿り着き成仏して欲しい」という参列者の想いでお唱えした『読経の功德を回らして故人に届けるため』に回向をお唱えするのです。

回向文には法要の内容によって様々ありますが、もっとも基本的な回向が普回向です。

【普回向】
願わくは此の功德を以て、普く一切に及ぼし、我等と衆生と、皆共に仏道を成ぜんことを。

〔意味〕
この読経の功德を広く一切の仏・菩薩・神々や諸々の精霊に回らし向けます。

私たち人間をはじめ、生きとし生けるものすべてが、仏の道を成就することが出来るように心から願います。

「普」はあまねくの意味ですから、様々な場面で利用されていますし、回向とはどのようなものなのかを簡潔に表している文言となっております。

さらに、どのような回向の後でも法要の最後には必ず次の偈文をお唱えし、讃嘆の言葉を述べて終わります。

【略三宝】
十方三世一切仏。
諸尊菩薩魔訶薩。
魔訶般若波羅蜜。

〔意味〕 十方とは、東西南北の四方と、東南・西南・東北・西北の四維、上下の空間のこと。
三世とは、過去現在未来の時間のこと。

三宝とは、「仏宝・法宝・僧宝の三宝」と呼ばれ、ここでは次のように讃嘆している。

〈仏〉 あらゆる空間・時間にわたるすべての仏さまを讃えます。
〈僧〉 諸々の尊い菩薩さまと、教えに生きる方々を讃えます。

〈法〉 大いなる般若波羅蜜・仏法の智慧を讃えます。

お盆の棚経でお経を唱えておりますと、私の声に合わせて「じーほーさんしーいーしーふー…」と合掌しながらお唱え下さる方がいらっしゃいます。

言葉に出して共に願い讃嘆して下さるその姿は、私たち僧侶にとりまして心強い存在です。

あるお寺の奥様が嫁がれて間もなくの頃、略三宝の最後にある「ほーろーみー」が英語の「フォーミー（私に付いてきて）」と聴こえたという話があります。

意味も分からず聴いてはチンプンカンプンですが、意味を分かっってお唱えすれば心が洗われることを実感できます。

表紙には般若心経よりも短い七十二文字のお経「舍利礼文」と普回向・略三宝を載せました。お仏壇の前では非お唱え下さい。